

部活応援隊が行く!!

川越中学校
卓球部 編

仲間とともに切磋琢磨し、技術を磨く

川越中学校卓球部

年齢関係なく仲がよく、互いに切磋琢磨して技術を磨く川越中学校卓球部。他の部活動との兼ね合いで体育館の使用時間が限られている中、集中して練習に取り組んでいます。



顧問 清水 沙央里先生

A2 Q2 改善すべきところは?

(吉水さん) 休むときと練習するときの切り替えをきちんとすると、相手への適応力を向上させたいです。

思います。今年のチームは実力があり、メンバー同士の仲がよいところが魅力です。

A5 Q5 指導で心がけていることは?

(清水先生) 体能の限られ、時間の使い方で技術練習ができるないときは、教室で動画を見て皆で技術研究をするなど工夫をしています。

A6 Q6 成長を感じるところは?

(清水先生) 最初は自分のことしか考えられないから、周りを見て行動できるようになります。年齢関係なく皆一緒に練習しており、技術のある子が他の部員に教えるなど、「皆でうまくなり強くなる」とを大切にしているとを考えています。



A7 Q7 現在の目標は?

(吉水さん) 中体連三河地区予選大会で一人が個人の部で県大会出場を決めました。団体でも県大会出場を目指しています。



A1 Q1 部活を始めたきっかけ、部のいいところは?

(吉水さん) 小学校の頃、運動がなかなかできず、運動不足を解消したくて部活動に入部しました。卓球部を選んだ理由は、他の運動部に比べて、ハードルが低いと感じたからです。実際に始めてみると大変でしたが、体力がついてきたように

A2 Q3 キャプテンとして心がけていることは?

(吉水さん) 部員全員に話したり、気分をたすねてみたり、気を配るようにしています。

A3 Q4 心に残っている出来事は?

(吉水さん) 昨年の大会で、他校の年上の人と対戦したときです。最初に2ゲーム先制されましたが、その後が残りという状況の中、皆の応援や先生のアドバイスで、3ゲームを取り返し、逆転勝ちしました。

A4 Q5 二次元コードを読み取ると卓球部のコメントが見られます。

A5 Q6 二次元コードを読み取ると卓球部のコメントが見られます。

